

MFYニュース2010年度 後期号

発行 2011年3月 (社)青少年音楽協会

青少年音楽協会会員の皆様へ

日差しが日々明るさを増し、春がやってきました。

青少年音楽協会を応援して下さいの皆様に支えられ、2010年度の全ての行事を無事に済ませることができました。

感謝いたします。ここに、前期号に続く5つのコンサートのご報告をいたします。

新年度の企画も進んでおります。どうぞご期待下さり、益々のご支援をお願い致します。

MFY 理事・職員一同

◇教育的コンサート 子どものためのバレエ

10月6日(水) 10:45 東京都児童会館

☆恒例のインターナショナルスクールの子どものためのバレエコンサートです。毎回、子どもたちの心をつかむ美しく楽しいバレエであり、大人が観ても内容の深い感動をさせらる舞台です。

<第1部> “PETER AND THE WOLF” (ピーターと狼) 音楽：プロコフィエフ

<出演>

ピーター／伊藤友里絵

狼／時田ひとし

小鳥／ウタコ

猫／桑原麻実

アヒル／関あゆみ

お爺さん／前田一実

狩人／木室陽一 五十嵐悠

木／須田菜摘



☆それぞれの登場人物を表す音楽と朗読により物語が進められますが、その各登場人物たちの巧みな踊りで、子どもたちは物語に引き込まれて体を乗り出すようにして観ていました。お爺さんが現れたときの思わず発した嬉しそうな笑い声が印象的でした。

<第2部> “FOUR TALES BY MOTHER GOOSE” (マザーグースの4つのお話) 音楽：ラヴェル

『マザーグースとピエレッタ』



↑ 雑賀淑子 小泉高峰

(1) 『眠りの森の美女』



↑ ウタコ アナトーリ・スタヴロフ

(3) 『おやゆび小僧』



関 あゆみ

(2) 『美女と野獣』



← 時田ひとし 榎川真理子

女王／山本みさ→

(4) 『パゴダの女王』



☆オーロラ姫と王子様の夢見るような美しさ、美女と野獣の神秘的な美しさ、またおやゆび小僧の操り人形を表現する巧みな踊りなど、それぞれ短い踊りの中で物語を十分満喫できる素晴らしい舞台でした。

◇第59回チャペルリサイタル

10月23日(土) 15:00

日本福音ルーテル東京教会

<出演>

ピアノ独奏/山中 梓

ソプラノ独唱/池田サラジェーン

ピアノ伴奏/岩城美智子

パーカッション演奏/山崎咲江 平野有希子

【特別出演】

フルート独奏/綱川泰典

ピアノ伴奏/長澤晴浩

☆視覚に障害のある若い音楽家たちの演奏が心に染みます。今回のマリimbaの幅広く大きな鍵盤楽器を、どうやって演奏するのかとても不思議でしたが、見事な演奏を聴かせてくれました。

特別出演のお二人はいつものことながら息の合った美しい演奏を聴かせて下さいました。



◇サロンコンサート

『ジャズピアノの楽しみ』

11月14日(日) 15:00 MFYサロン



<出演>

ピアノ/羽仁知治

☆ジャズの発祥から現在のジャズに至までの長い歴史をスライドや映像、音など沢山の資料を準備され、丁寧にその流れや変化を話されました。ジャズ演奏の記録として残る最も古い演奏の映像と音を聴けたのは貴重な経験でした。またベニーグッドマンの演奏にとってもなつかしさをおぼえていた方もいらっしゃったようです。後半の実際のピアノ演奏はさすがに素晴らしく、楽しく過ごすことが出来ました。

◇エロイーズ・カニングハム没後10年目のご命日

☆2000年11月27日にカニングハム女史が天に召されてから早いもので、この2010年で10年目のご命日を迎えました。

生前から親交のあったものが集い、カニングハム女史の写真の前で思い出を語り合う一時を過ごしました。

頑固に私生活は質素で、しかし、若者に音楽を与えるためには全てをそそぎ込むことに情熱を傾けて過ごした一生でした。

今、私たちがその仕事を引き継いで行っていることを喜んで下さる

のか、力足らずを残念と思っているのか、カニングハム女史の写真は、

その時々微笑んでいるようにも、怒っているようにも見えるのはどうしてでしょうか？

どうぞ青少年音楽協会がこれからも意義ある仕事が出来ますように皆様ご支援下さい。



◇バレエ『くるみわり人形』

12月10日(金) 17:30の部/19:30の部 ルーテル市ヶ谷センター

音楽：チャイコフスキー 編曲：福田一雄 原振付：M.プティパ 振付：雑賀淑子

<出演>

ピアノ／福田一雄
フルート／保坂真弓
ハープ／金淵洋子
オーボエ／福田雅夫

バレエ／サイガバレエ



ドロッセルマイヤー／時田ひとし お菓子の国の女王／大谷けい子
くるみわり人形／佐藤奈保 クララ／ウタコ



☆今年で4年目を迎えたルーテル市ヶ谷センターでの『くるみわり人形』は、益々ホールにしっかりとした演出で、観客を温かく包んでくれるような舞台となりました。演奏にオーボエが加わったことにより音色が深まり全体が豊かになったのも素晴らしいことでした。夕方の部も夜の部も盛会となりました。

◇クリスマスサロンコンサート

12月25日(土) 15:00 MFYサロン

<出演>

クラリネット／古澤裕治
ヴァイオリン／上村 牧
ヴィオラ／林徹也
チェロ／芦沢健介
ピアノ／込山今日子

☆カニングハム女史とその母を偲びつつ、親しい方々と共にクリスマスを祝うことができました。例年にも増し、多くの方々にお集まりいただいたことも嬉しいことでした。

ヴァイオリンのソロ、ピアノ三重奏曲、弦楽三重奏曲の演奏が、やわらかく温かく心に響きました。

また、全員で器楽の伴奏により、“きよしこの夜” “もみの木真中に”などのクリスマスキャロルを歌い、そしてワインとお菓子をいただき楽しいひと時を過ごしました。

サロンコンサートならではの、ごくごく身近で演奏する姿に触れながら聴ける喜びを語ってくださった方もあり、改めてサロンコンサートの素晴らしさを感じました。

